## 東日本大震災復興支援

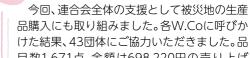
# 被災地訪問報告

2011年3月11日14時46分、これまで経験したことがない大きな地震が東北、関東 を襲いました。あれから11年経とうとしています。

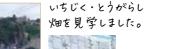
震災の翌年、生活クラブ生協の呼びかけにより、私たちは「東日本大震災・復興支 援ネットワーク (支援ネット神奈川)\* に参加し、活動をすすめてきました。その 1つである「東日本大震災復興支援まつり」では多くのW.Coの協力により たくさんのブースを出展して、カンパ金を届けてきました。そして 被災地について学ぶとともに、被災地訪問も行ってきまし た。今回はその被災地訪問について報告します。

#### \*「東日本大震災・復興支援 ネットワーク」 幹事会団体…

生活クラブ生協神奈川・神奈川W.Co 連合会・WE21ジャパン・いきいき福 祉会・神奈川ネットワーク運動・地球 の木・参加型システム研究所



けた結果、43団体にご協力いただきました。品 日数1.671点、金額は698.220円の売り上げ になりました。また、畠農園のリンゴジュース は11団体、14ケースの申し込みがありまし た。いろいろ不備があり、ご迷惑もおかけしま したが、ご協力ありがとうございました。









活動と交流の拠点にしよう!と改装

#### ここまで津波は 到達しました。

たった一つ津波に耐えた八木家の納屋。みんなの

## 見学

コミュニティ スペース うみねこ

訪問 スーパー おんまえや 女川町民に長年愛されてい ましたが、津波で全壊。従業 員も犠牲になりました。以 前とほぼ同じ、海から近い 場所で2020年3月営業再開。

訪問 共生地域創造財団 石巻事務所

ここでは被災者の自立支援をしてい ます。仮設住宅からの転居やコロナ 禍で居場所をなくした人のシェル

ター運用についてお話を伺いました。

→1日目終了

### 被災地訪問のきっかけと目的

「復興支援まつり」は『被災地を忘れない、被 災地とつながる』をテーマに続けてきました が、震災から数年経ち、支援ネット神奈川では 「神奈川の地で学習をしたり、まつりをしたり するだけでいいのか?被災地が必要としてい る支援が変わってきているのではないか?」 という思いが強くなりました。そこで2018年 から被災地の現状を知り今後の支援を考える ために、隔年で神奈川での学習会と交互に「被 災地訪問」を行うことを決めました。

2020年に実施予定だった2回目の訪問は新 型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。 今年は感染を拡大させないように、福島コー ス・宮城コースそれぞれ上限10名の参加制限、 出発前に各自PCR検査をして臨みました。

行程 2021年12月3日(金)・4日(土) 宮城コース

参加者 井上 浩子専務理事

## 188

JR石巻駅

女川駅

津波は海抜14mの 病院の1階天井付 近まで到達しました。

女川(昼食

魚市場食堂

きれいに建て替わった魚

市場内の食堂で、めっ

たに食べられないお刺身

も出していただきました!



### 女川駅周辺 自由行動





整備された新たな街並みの中に、 旧女川交番だけが津波で倒され た姿で残されていました。



元保育士の八木純子さんは、お母さん たち、お父さんたち、若者、それぞれが 自律(自立)して生活できるように、人 を見て、考えて考えて、行動しています。

## 288

### 訪問 大川小学校

ハザードマップでは津波がこない 想定の避難場所に指定されていま した。しかし、すぐそばを流れる北 上川と海からも水が押し寄せ、児 童74名と教職員10名が犠牲に

石巻は

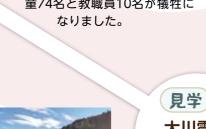
「サイボーグ009」

で有名な石/森正

太郎の故郷



子どもたちの声が聞こえてきそうなモダン な校舎。小学校からは海は見えませ ん。学校の裏には緩やかな山。地震か ら51分。なぜ津波の被害にあったのか。



## 大川震災 伝承館

日頃の準備と念のため挑げるという選択。 それを大人ができるかどうか。教訓という にはあまりに大きな犠牲でした。

#### 新しく建てた野菜加工工場

訪問)昼食

高橋徳治

商店

建て替えられた女川小・中学校

海抜30mで現在の避難場所

になっています。



高橋社長は震災後、心に傷を負った未就労の若者が1,000 人いることに衝撃を受け、野菜加工場を新設。当初社内から は異論がありましたが、若者たちが変わっていくのを目の当たりに して、社長の思いを理解し、協力するようになったそうです。

> 被災したときに駆けつけてくれ た方々の思いを忘れないように その時使ったスコップやはしごを 保存して展示しています。





工場見学もしました。

生活クラブ生協組合員はいつも

お世話になっている「おとうふ揚

げ」の生産者。工場からの泥の撤去

を含め、多くの生協が震災直後か

ら再建に向けて支援しました。

### 被災地訪問を終えて

改めて日頃から備えておくこと。そし て、W.Coの基本でもある自分で考えて自 分で行動することの大切さを伝えなけれ ばと思いました。

現在の被災地の課題の多くは、日本の どこでも課題となっていることだと感じ ました。被災地の方々が自律(自立)して 生きていけるように、支援や具体的な連 携を続けていくとともに、お互いの知恵 や実践を交換して、共に発展していきた いと思います。今後も1人でも多くの方に 被災地を訪れてもらいたいです。

(専務理事 井上 浩子)

→ツアー全行程終了